

緊急時における本協議会の開催継続について

本協議会が感染症などの感染拡大の影響により、参集しての開催が危ぶまれる時には、次の手段を用いてオンライン会議を開催する。

1 オンライン会議の概要

本市議会において導入予定である「LINE WORKS」のビデオ通話機能を使い、オンライン会議を開催する。表示上限は9名（接続上限は200名）となっているため、本協議会の委員数であるならば開催は可能と考える。

ID が付与された者のみサービスの利用が可能となる方式のため、悪意のある第三者がオンライン会議に侵入する危険性はない（ゲスト参加はできない）。

なお、オンライン会議には特化していないため、第三者がビデオ通話を傍聴する機能や録画機能はないが、市議会 PC 標準装備の補完ソフトを用いることにより、録画が可能なことを確認している。

2 LINE WORKS 以外の対策

「LINE WORKS」以外の対策としては、いくつかの手段が考え得るが、機能や経費がそれぞれ異なるため、改めて検討する必要がある。

製品名	無料版の主な制限	有料版の基本プランと費用		契約単位
Google Meet	録画不可・ゲスト参加人数制限あり	Basic	月額 680 円	ユーザ数分(×40名以上)
Microsoft Teams	録画不可・ゲスト参加人数制限あり	Business Basic	<u>年額</u> 6,480 円	ユーザ数分(×40名以上)
Cisco Webex	録画不可	Starter	月額 1,490 円	ホストのみ
Zoom	1 会議 40 分制限	Pro	月額 2,000 円	ホストのみ

※上記の金額は全て税別です。

※Microsoft Teams 以外はサーバの所在が日本国外のため、不測の事態発生時に、日本国法の適用が受けられない。(LINE WORKS のサーバは日本国内である。)

※どのアプリも同時接続数は 100 人～250 人のため、会議開催には支障ない。

※有料版であれば、基本的に上記等の制限がなくなる。

※Google Meet と Microsoft Teams は、LINE WORKS と同じく ID が付与された者のみサービスの利用が可能だが、ゲスト参加も可能。Cisco Webex と Zoom は、ゲスト参加方式となる。ゲスト参加方式は、アカウントが共通 URL となるため、悪意のある第三者がビデオ会議に侵入する危険性がある。